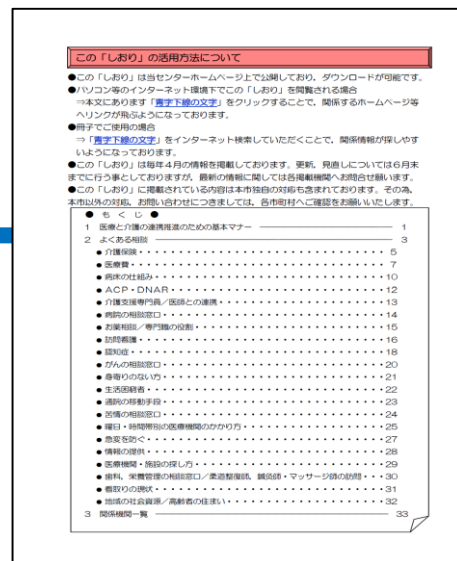


「はこだて療養支援のしおり」 について



令和5年11月21日（火）

18:00~19:00

公益社団法人 函館市医師会
ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター
コーディネーター 眞嶋 史恵（社会福祉士）

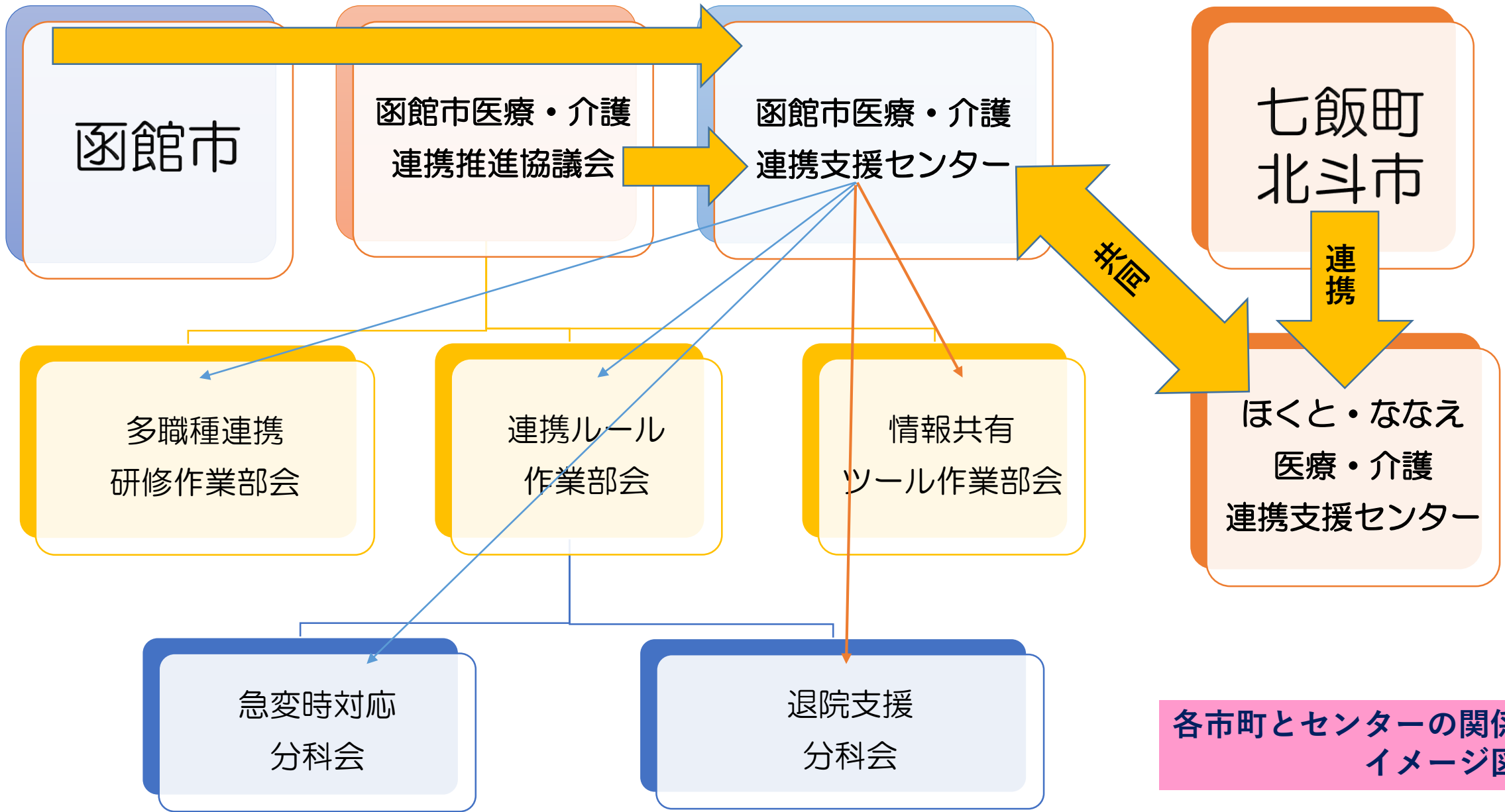
公益社団法人 函館市医師会
函館市医療・介護連携支援センター
コーディネーター 近藤 純香（看護師）

函館市医療・介護連携推進協議会



函館市医師会
函館歯科医師会
函館市薬剤師会
北海道看護協会
道南訪問看護ステーション連絡協議会
函館市訪問リハビリテーション協会
函館市地域包括支援センター連絡協議会
函館市居宅介護支援事業所連絡協議会
道南在宅ケア研究会
道南老人福祉施設協議会
函館地域医療連携実務者協議会
北海道医療ソーシャルワーカー協会
函館市保健福祉部 (13団体)

地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、
在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討



各市町とセンターの関係
イメージ図

函館市医療・介護連携支援センター ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター

函館市医師会病院内に
2つのセンターがあります



ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター概要

北斗市・七飯町から函館市医師会への委託事業

- R3年4月センター準備室発足
- R3年7月センター開設

場所：函館市医師会病院内（1F地域医療連携センタークローバーに隣接）

センター長：岡和田 敦（函館市医師会病院医療部長）

配置職員：1人（相談員）

※函館市医療・介護連携支援センター（4人）

開設時間：月～金曜日 8:30～17:00

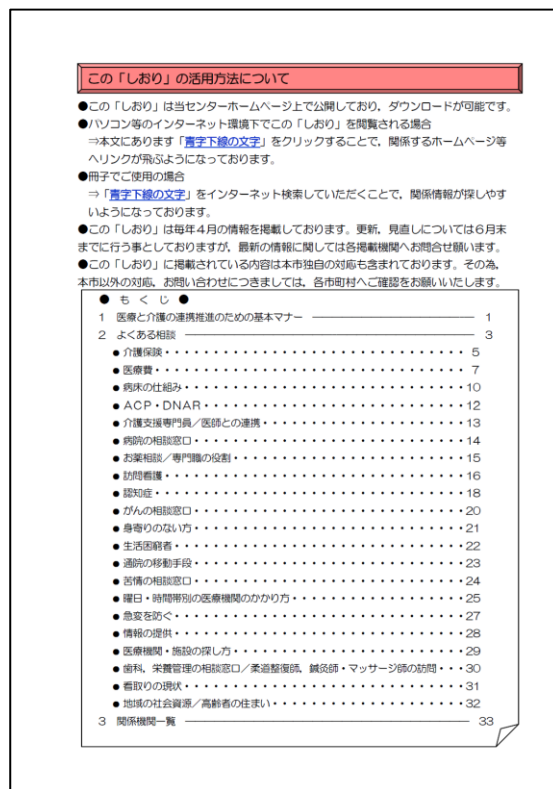
土曜日 8:30～12:30

センター(直通) TEL 42-1232 FAX 42-1233

ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター センターの事業内容

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- (ウ) 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発

『はこだて療養支援のしおり』の作成、普及



○専門職から寄せられた相談をもとに、医療と介護の連携場面で知っていたら便利な情報をまとめた

○日常の相談業務に活用

この「しおり」の活用方法について

- この「しおり」は当センターホームページ上で公開しており、ダウンロードが可能です。
- パソコン等のインターネット環境下でこの「しおり」を閲覧される場合
⇒本文にあります「[青字下線の文字](#)」をクリックすることで、関係するホームページ等へリンクが飛ぶようになっております。
- 冊子でご使用の場合
⇒「[青字下線の文字](#)」をインターネット検索していただくことで、関係情報が探しやすいようになっております。
- この「しおり」は毎年4月の情報を掲載しております。更新、見直しについては6月末までに行う事としておりますが、最新の情報に関しては各掲載機関へお問合せ願います。
- この「しおり」に掲載されている内容は本市独自の対応も含まれております。その為、本市以外の対応、お問い合わせにつきましては、各市町村へご確認をお願いいたします。

● も く じ ●

1 医療と介護の連携推進のための基本マナー	1
2 よくある相談	3
(1) 健康な時期	●介護保険・・・6
	●医療費・・・7
	●病床の仕組み・・・12
	●ACP・DNAR・・・14
(2) 通院中	●介護支援専門員/医師との連携・・・15
	●病院の相談窓口・・・16
	●お薬相談/専門職の役割・・・17
	●訪問看護・・・18
	●認知症・・・20
	●がんの相談窓口・・・22
	●急ぎのない方・・・23
	●生活困窮者・・・24
	●通院の移動手段・・・25
	●苦情の相談窓口・・・26
(3) 急変時	●曜日・時間帯別の医療機関のかり方・・・27
	●急変を防ぐ・・・29
(4) 入院～退院直後	●情報の提供・・・30
	●医療機関・施設の探し方・・・31
(5) 訪問診療中	●歯科、栄養管理に関する相談窓口・・・32
	●柔道整復師、鍼灸師・マッサージ師の訪問・・・33
(6) 人生の最終段階	●看取りの現状・・・34
(7) その他	●地域の社会資源/高齢者の住まい・・・35
3 関係機関一覧	36

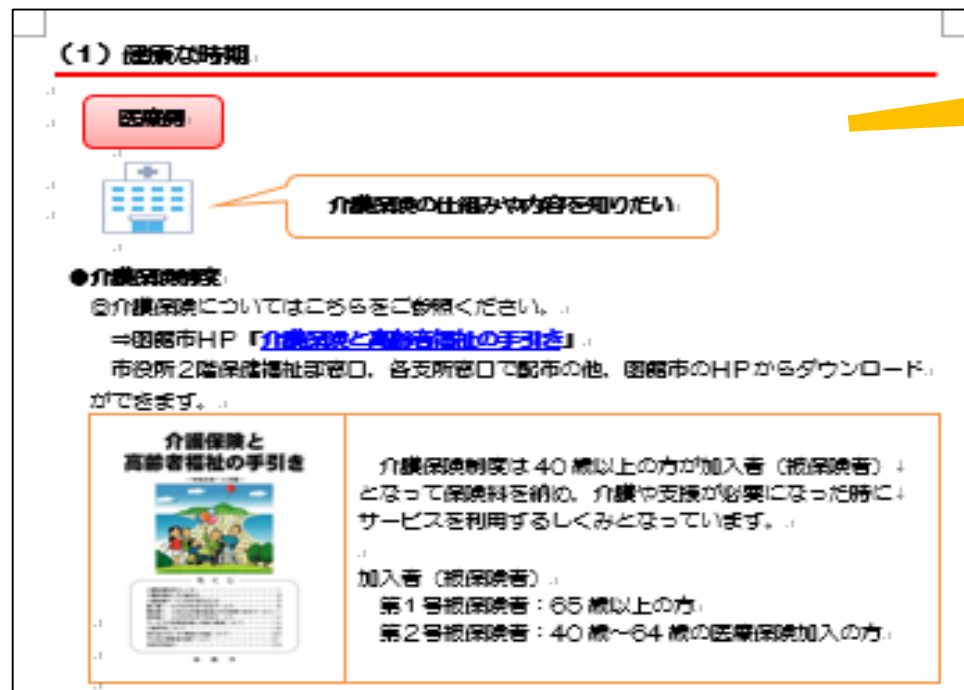
しおりの活用方法について

●パソコン等のインターネット環境下でこの「しおり」を閲覧される場合

⇒本文にあります「[青字下線の文字](#)」をクリックすることで、関係するホームページ等へリンクが飛ぶようになっております。

●冊子でご使用の場合

⇒「[青字下線の文字](#)」をインターネット検索していただくことで、関係情報が探しやすいようになっております。



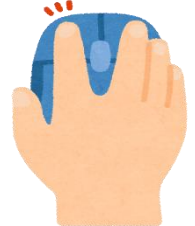
〇〇を知りたい



●・・・制度

⇒〇〇HP「[〇〇〇〇](#)」

クリック



1 医療と介護の連携推進のための基本マナー

医療と介護にかかわる多職種が、お互いに気持ち良く仕事をするための基本マナーです。ついつい自分の職種の目標だけで仕事を進めていませんか？

以下の7項目を参考に、日々の仕事を改めて振り返ってみてください。このことで、よりスムーズな連携と切れ目のない支援につながります。

◆ 第一印象を大切に

「出合って数秒の第一印象で、全ての印象が決まる」と言われておりました。悪い印象はなかなか消えず、払拭するためには、長い時間がかかります。

また、相手にどのように見られているか、どのような印象を与えているか、とは、相手の立場を考えるきっかけにもなります。相手への気配り、心配りを表す「身だしなみ」や「言葉遣い」を意識してみましょう。

◆ 相手の立場に立つ

専門職として高度な専門知識を有する他の職種と連携していくためには、それぞれの職種の立場を良く理解する必要があります。

職種によって、また医療機関や介護事業所によって、さまざまな立場や役割があることとできないことがあります。自分の立場だけを考えずに、その制度や法律なども含め理解するよう心がけましょう。

◆ きちんと名乗りあう

急いでいるときなどは、特に早口になりがちです。情報のやり取りをスムーズにするため、勤務箇所、名前、職種などをはっきり正確に伝え、相手方の名前も必ず確認しましょう。

また、支援対象者の情報が誤って伝わらないように、「はこだて医療連携センター」(情報共有ツール) (P30参照)などを活用し、事前に正確な情報を用意すると便利です。

特に、支援対象者の名前は必ずフルネームで伝え、生年月日などもあわせて伝えられるように準備しておきましょう。

第一印象を大切にしたいですね

用件の前に名乗るって大事ですよ

自分分かると相手分かるとは違いますね



◆ 自分の用件と相手方の受入状況を見極める

日頃から、関係する医療機関や介護事業所などの情報を収集し、相手方が落ち着いて十分に対応できる時間帯、曜日などを確認しておきましょう。

また、自分の用件が、どのくらい重要で、どのくらい急ぐものなのかを見極めることも大切です。緊急性が低いときは、事前に確認した時間帯等に連絡することで、対応をスムーズに進めることができます。

特に、医療機関などに訪問して情報交換する場合は事前に対応可能なケアマネタイム等の時間帯を確認し、アポイントメントを取ってから訪問しましょう。(P15参照)

◆ 医療機関や介護事業所ごとの体制を確認する

連絡を取っている担当者が不在の場合でも困らないように、医療機関や介護事業所ごとの担当者の連絡先や代わりに対応する方を確認しましょう。

また、時間外、休日などの対応が可能なか、代わりに対応できる医療機関や介護事業所があるのかなど、さまざまな場面を想定して行動できるよう心がけましょう。

◆ わかりやすい言葉で、見やすい文字で

自分の職種の中ではあたりまえの言葉でも、他の職種と話すときには、共通に理解できているかを十分に確認しながら、わかりやすく説明するよう意識しましょう。

また、支援対象者の情報を記載する場合は、誰が見てもわかるように、見やすい文字で正確に書くよう心がけましょう。

特にかかりつけ医は、支援対象者が各サービスを利用するうえで重要な役割である「主治医意見書」「訪問看護指示書」「訪問薬剤管理指導指示書」などを書くことになり、正確で具体的な記載と迅速な提出が必要とされています。病歴や服薬の状況、生活のことなども含めきめ細かな情報が記載されていることで支援対象者が必要なサービスが何かわかり、スムーズな支援につながります。

◆ 顔の見える関係づくり

日々の仕事に追われる環境では、他の職種とのやり取りがどうしても事務的になってしまいがちです。

多職種対象の研修(国館市医療・介護連携支援センターHP参照)などに積極的に参加し交流することで、多職種の「顔」や「人となり、背景」を知ることができます。そこで得た人脈を職場に持ち帰って生かすことで、お互いに手応えのある連携の可能性が高まります。

介護側



病床の仕組みを知りたい

●地域包括ケア病棟（病床）

急性期治療後、病状が安定した患者に対し、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う機能と、在宅で療養を行っている患者等の受入れ、医療や支援を行う機能を併せ持つ病棟です。

この病棟の入院期間は、最長で60日が原則とされています

(令和5年6月現在)

	一般	地域包括ケア	回復期	障がい	ホスピス 緩和ケア	精神	療養（医療）	療養（介護）	感染症	結核
亀田北病院						●				
亀田花園病院	●						●			
亀田病院	●	●	●	●						
共愛会病院	●	●		●			●			
国立病院機構函館病院	●	●								
市立函館恵山病院							●			
市立函館病院	●								●	●
市立函館南茅部病院	●						●			
高橋病院		●	●							
富田病院	●					●	●			
ななえ新病院		●	●				●			
なるかわ病院						●	●			
西堀病院	●	●	●	●						
函館おおむら整形外科病院	●									
函館おしま病院					●					
函館記念病院				●		●	●			
函館協会病院	●	●	●	●			●			

介護側



病院の相談窓口がわかりにくい

病院相談窓口一覧は、
よく活用されています



【函館市および近郊 病院相談窓口一覧】 *五十音順

(令和5年6月現在)

医療機関	相談窓口	連絡先
亀田北病院	地域連携室 認知症疾患医療センター	46-4651 (代表)
亀田花園病院	地域連携室	33-2501 (直通)
亀田病院	地域連携室	40-1500 (代表) 41-8883 (直通)
共愛会病院	入退院支援室	33-1166 (直通)
国立病院機構函館病院	地域医療連携室	51-0229 (直通)
市立函館恵山病院	医療連携室	85-2001 (代表)
市立函館病院	患者サポートセンター	43-2000 (代表)
市立函館南茅部病院	事務	25-3511 (代表)
高橋病院	総合支援センター	23-7221 (代表)
富田病院	地域医療連携室	52-1114 (直通)
ななえ新病院	ソーシャルサポートセンター	65-8879 (直通)
なるかわ病院	医療相談室	65-7131 (代表)
西堀病院	地域連携課	78-0102 (直通)
函館おおむら整形外科病院	地域連携課	47-5333 (直通)
函館おしま病院	入退院支援室	56-2308 (代表)
函館記念病院	地域医療連携室	42-0769 (直通)
函館協会病院	地域医療福祉連携室	53-5511 (代表)
函館五稜郭病院	地域連携・PFMセンター (Patient Flow Management) ・入院および外来受診予約 ・入院中・通院中患者・介護関連の相談	51-5699 (直通) 51-2498 (直通)
函館市医師会病院	医療・介護連携課 医療福祉相談係	43-4873 (直通)

医療側



介護側



～共通課題～
がんの相談窓口は？

●がん相談支援センター

がん患者の方やそのご家族、さらには、地域の住民、医療機関等からの相談窓口です。がん相談支援センターでは、がんの治療や予防などに関する一般的な情報や、地域の医療機関や医療従事者に関する情報の提供、セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介、療養上の相談などに対応しています。がん相談支援センターのある病院にかかっているがん患者だけではなく、他の病院にかかっている患者やそのご家族、親戚、知人、医療関係者など誰でも利用することができます。相談料は無料です。

通院歴がなくても、本人家族以外でも誰でも相談可能です

地域がん診療 連携拠点病院 <small>(厚生労働省指定)</small>	市立函館病院	函館市港町1丁目10番1号	43-2000 (代表)
	函館五稜郭病院	函館市五稜郭町38番3号	51-2295 (代表)

北海道がん診療 連携指定病院 <small>(北海道指定)</small>	国立病院機構 函館病院	函館市川原町18番6号	51-0229 (直通)
	函館中央病院	函館市本町33番2号	52-1231 (代表)

| (五十音順)

介護側



曜日・時間帯別の医療機関のかかり方について知りたい

	月～金	土曜日	日曜日・休日
午前	かかりつけ医		休日当番医
午後			
午後 7 時 30 分まで	夜間診療を行っている医療機関		
午後 7 時 30 分～深夜 0 時	函館市夜間急病センター		
深夜 0 時～午前 9 時	深夜 0 時以降に受診できる医療機関を探す 北海道救急医療・広域災害情報システム 0120-20-8699 携帯・PHS 011-221-8699		

◎受診可能な医療機関をお探しの方は、上記「北海道救急医療・広域災害情報システム」へお問い合わせください。

●函館市の救急医療体制
救急医療機関を重症度に応じて3段階に分けて対応しています。



段階	患者の状態	医療機関	緊急度
初期救急 (※1)	軽症患者	函館市夜間急病センター 休日当番医	小 大
医師の判断で転送		より詳しい検査や入院が必要な時	
二次救急 (※2)	重症患者	市内の9病院が当番制で対応	
医師の判断で転送		高度な医療が必要な時	
三次救急 (※3)	生命に危険がおよぶ患者	市立函館病院救命救急センター	

北海道救急医療・広域災害情報システム

Web Page Translation

English 繁體中文 简体中文 한국어 Pусский

キーワードで探す (例) 札幌市 内科 検索

○ AND検索 ● OR検索

医療機関を調べたいとき 電話で案内を受けたいとき

救急医療情報案内センター

小児救急電話相談
受付時間：毎日午後7時～翌午前8時
011-232- 1599 または #8000

情報案内センターでは、以下の電話番号にて医療機関の案内サービスを行っています。(24時間受付)

0120-20-8699 (フリーダイヤル) または 011-221-8699 (携帯・PHSの方はこちら)

※お問い合わせの際は、電話番号のお間違いのないよう、ご注意ください。
※情報案内センターでは、医療相談は行っておりません。

◎救急についてはこちらをご参照ください。

⇒函館市HP「[みんなで守る救急医療～私たちにできること](#)」



「[休日当番医・夜間診療医療機関等のご案内](#)」



●函館市夜間急病センター

◎函館市夜間急病センターについてはこちらをご参照ください。

⇒函館市夜間急病センターHP「[函館市夜間急病センター](#)」診療案内



函館市夜間急病センター

函館市五稜郭町23番1号
函館市総合保健センター2階

30-1199

休日当番医・夜間診療医療機関等のご案内

曜日・時間帯別の医療機関について掲載しています。必要な情報をクリックして進んでください。日中から症状があるときや、翌日の朝まで待てる状態のときは、できるだけ日中の診療時間内

	月～金曜日	土曜日	日曜日・休日
午前	かかりつけ医		休日当番医
午後			休日当番医
午後7時30分まで	夜間診療医療機関		
午後7時30分～深夜0時	函館市夜間急病センター		
深夜0時～午前9時	深夜0時以降に受診できる医療機関を探す 北海道救急医療・広域災害情報システム		

介護側



急変を防ぐためにできることって？

●急変時対応シート

急変時対応シートは消防庁のHPに重大な病気やけがの可能性のある「ためらわず救急車を呼んで欲しい症状」として掲載されている図に、救急隊が最低限伝達して欲しい情報を追加しております。函館市医療・介護連携支援センターHPからダウンロードが可能です。

◎急変時対応シートについてはこちらをご参照ください。

⇒函館市医療・介護連携支援センターHP

「急変時対応シート・函館市」



施設だけではなく、利用者さまの自宅に置いて、いざという時に使用したり、デイサービスで活用したり・・・ダウンロードして活用してください！

「まよわず119番」の時はどんな時かの勉強会にもお使いください・・・

(4) 入院～退院直後

医療側



介護側



～共通課題～
どんな情報の提供をするといいの？

はこだて医療・介護連携サマリー(基本ツール)

医療提供先 施設名称	御中	介護提供先 担当者名	様
● 基本情報等			
氏名	生年・性別等	生活保護	障害者認定
居住所	電話番号	健康保険	国民健康保険
居住	認定有効期間	障害高齢者日常生活自立度	認知症高齢者日常生活自立度
同居家族	連絡先の氏名	連絡先の電話番号	関係
● 医療情報等			
主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医
● 身体・生活機能等			
*起居動作性	移動	自立	歩行器
麻痺の状況	麻痺の部位	視力	聴力
意思の伝達	失語症	無	有
*認知症疑	無	有	不明

はこだて医療・介護連携サマリー

医療・介護関係者間で情報を共有するための共有ツールの作成・活用促進（基本，応用ツール）

どの職種でもわかりやすく，見やすく，連携しやすいことを重視して作成。
 ・フェイスシートとなる基本ツールと特別な医療等をより詳細に情報共有する応用ツールを作成。
 ・函館市では平成30年3月から本格運用を開始し、市内関係機関で活用中。

◎「入院～退院直後」での医療・介護の連携についてはこちらをご参照ください。

⇒函館市医療・介護連携支援センターHP

[「はこだて入退院支援連携ガイド」](#)



函館市内の入退院時のスタンダードな連携の在り方をまとめています。入退院支援に関する医療・介護関係者が相互の動きを把握することで、スムーズな連携の促進につながることを目的に作成しています。

【活用例】

- 自職種の動きの確認時に活用
- 研修会等での活用
- 新人職員への指導の場面での活用 等

ほくと・ななえ
バージョンが
あります！

医療側



～共通課題～

訪問診療をしている「医療機関」、
医療処置のある方が入所できる
「施設」を知りたい

介護側



【問い合わせ先】

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院1階）	43-3939
------------------------------	---------

◎医療・介護連携マップについてはこちらをご参照ください。
⇒函館市医療・介護連携支援センターHP「[医療・介護連携マップ](#)」



地域の医療と介護をつなぐ

TEL:0138-43-3939

函館市医療・介護連携支援センター

平日8:30～17:00／土曜8:30～12:30／日曜・祝日休み
〒041-8522 函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会病院内1階



HOME

函館市医療・介護
連携支援センターとは医療・介護
連携マップについて

研修情報

各種ダウンロード

よくある
ご質問

用語集

MENU



医療・介護連携マップ

種別検索



医療機関



入院医療機関



薬局

介護
(居宅系)介護
(入所系)

施設名検索

例：医師会病院

検索

- 地域包括支援センター（函館市 北斗市 七飯町）
- 在宅医療を行っている医療機関一覧
- 介護事業所・体制一覧（函館市 北斗市 七飯町）
- 入院医療機関一覧
- 函館歯科医師会（在宅歯科医療のご相談はこちら）

医療側



介護側



～共通課題～

歯科、栄養管理に関する相談窓口は？

●函館歯科医師会 道南圏域在宅歯科医療連携室

口腔に関すること（口腔ケアや訪問歯科診療など）についての相談ができます。

受付時間 月曜～金曜 9時～16時（木曜は午前のみ）

◎道南圏域在宅歯科医療連携室についてはこちらをご参照ください。

⇒函館歯科医師会HP「[道南圏域在宅歯科医療連携室](#)」



食事や歯に関する困り事の
相談の時に活用しました

道南圏域
在宅歯科医療連携室

函館市五稜郭町23番1号
函館市総合保健センター1階
函館口腔保健センター内

76-
(FA

●北海道栄養士会「栄養ケア・ステーション函館支部」

北美原認定栄養ケア・ステーション

栄養面のサポートが受けられます。また、医師の指示により栄養食事指導が受けられます。

北海道栄養士会 栄養ケア・ステーション 函館支部（事務局）	函館市高丘町52番1号 函館短期大学内	090-8631-7953
北美原認定栄養ケア・ ステーション	函館市石川町350番18号 北美原クリニック 人工透析センター内栄養指導室	34-6677

「はこだて療養支援のしおり」を
北斗市の医療・介護関係者の皆様にご利用いただけ
ければ幸いです。
ご不明点などありましたら、ご連絡ください。

ほくと・ななえ医療・介護
連携支援センター

42-1232

函館市医療・介護
連携支援センター

43-3939

ご清聴
ありがとうございました

